



学校だより 令和4年12月1日 No. 301

柏崎市立柏崎小学校

柏崎市学校町 1 番 88 号

TEL0257-22-2196 FAX0257-24-0304

HP<http://kedu.kenet.ed.jp/hakushou/>

E-mail hakushou@kenet.ed.jp

息を合わせ、心を一つに

校長 竹田 充

10月28日(土)の音楽会には大勢の皆様から温かい拍手をいただき、本当にありがとうございます。前日の「子どもの音楽会」直前に、全校児童に向けてこんな話をしました。

音楽の演奏は、その場限り。あとには残らない。だからこそ、演奏者の心が一つになった時の感動は、観客の心にずっと残るのだと思います。そして、今年のスローガン「かなでよう！笑顔あふれる みんなのメロディー」にあるように、聴く人を笑顔に幸せにしてくれます。そして、もう一つ。合唱や合奏は、一人ではできないし、誰か一人だけががんばってもうまくいかないよね。一人一人が役割をきちんと果たしながら、みんなで息を合わせ、心を合わせる事がとても大切です。



当日は全学年が最高のパフォーマンスを発揮しました。学年が上がるにつれて、見事にレベルの向上が感じられ、6年生は史上初？のアンコール演奏まで到達しました。中学校高校にはない6年間という発達段階の幅。ああ、ここまで高まるんだとの思いを強くし、コロナ禍でなければぜひ1年生の保護者の皆様にも6年生の演奏を見てほしいと感じました。

*SSE: ソーシャル・スキル・エデュケーション

さて、今年度柏崎小学校では、豊かな心を育む手立ての一つとして、全校道徳とともに「全校SSE*」に取り組んでいます。子どもたちには、「社会で生きていくために大切なスキルを学習すること」と説明しています。これは、主に人との関わり方やコミュニケーション能力を高めることを目指し、一見当たり前のように思える言葉がけや態度について、全学級で「①劇(よい例、悪い例)を見て考える→②ポイントをたしかめる→③学級のみんなでやってみる」という手順に沿って学び、練習します。その後、一人一人が振り返りをし、数日間実践してみます。

これまでに2回の全校SSEを行いました。1回目(9/26)は、「友達の話上手に聞こう」、2回目(11/15)は「友達を上手にほめよう」でした。各学級で教師の寸劇(Zoom)を視聴し、テーマについて理解した後、ペアを組んでリハーサルです。分かり切ったことをわざわざやってみることに「あざとさ」を感じるかと思えば、意外に子どもたちには好評で、以下のような感想が聞かれました。

- ・4つのことを意識すると、会話も弾み、お隣さんの好きなことも聞けてとっても楽しかった。
- ・自分ができていなかったところを見直して、これからうなずきやあいづちをがんばっていきたいです。

全学級で取り組むことで子どもたちの抵抗感がなくなり、相手の話をうなずきながら聞いたり、ふわふわ言葉でほめたりするやりとりを、実際にやってみると自然に笑顔になるようです。

ネット社会が進展し、マスク越しの対話場面が多い昨今、相手の気持ちや痛みを想像して接する態度、自分の喜びだけでなく人の喜びも喜べる心の持ち方がより重要になってきます。柏崎小学校では、これからも全教職員が知恵を絞り、自立して生きる力を育むとともに、みんなで息を合わせ、心を一つにする機会を大切にしていきます。

しょうず はなし き かた

2 上手な話の聞き方

- ①今していることをやめる
- ②話す人の方を見る
- ③うなずき、あいづちを打つ
- ④最後まで聞く

